

読書の秋に読書活動の充実を

県が実施した調査によると、今年度、県内小学校の約95%、中学校の約87%で、全校一斉の読書活動が実施されており、ブックトークや読書集会、ポスターの掲示等、各校において読書活動推進に向け、創意工夫ある取組が行われています。また、小学校の約85%、中学校の約62%で、図書館の貸し出しや選書相談、移動図書館の利用等、公立図書館との連携が図られており、児童生徒が読書に親しむための環境が整えられています。

今回は、児童生徒が読書を楽しみながら学校や家庭における読書習慣を確立し、更に読書の幅を広げる等、読書活動を充実させるための取組事例を紹介します。できるところから、また、自校に合うようにアレンジして取り組んでみてください。



子供の読書活動優秀実践校

文部科学省は、読書活動の一層の推進のため、特色ある優れた実践を行っている学校・園、図書館などに対し表彰を行っています。令和7年度優秀実践校に選ばれた2校の主な取組を紹介します。

<今治市立常盤小学校の主な取組>

【学校司書による読書の推進】

学校司書が学級担任と連携し、国語科の授業に入り、図書室の利用の仕方や活用の仕方を指導しています。

【おはなしのへや】

全校児童を対象に、昼休みに読み聞かせをする活動です。大型紙芝居や図書ボランティアによる手作りの挿絵をスクリーンに投影して読み聞かせをするだけでなく、その時々で児童にアンケートを取って選書したり、ペープサートや人形を使った劇にしたりするなど、図書ボランティアのアイディアを生かした読み聞かせを行っています。



【おはなしのへやの様子】

<愛南町立城辺中学校の主な取組>

【図書委員による毎月の学級文庫の設置と入れ替え】

読書の苦手な生徒にも配慮しながら学級文庫を設置することで、生徒が本を手に取りやすい環境を実現しています。

【本のポップの作成や読み聞かせ、ビブリオバトル】

本のポップの作成やビブリオバトル等の本を介した交流活動を行っており、生徒の読書意欲の向上につなげています。



【ビブリオバトルの様子】

※ビブリオバトルとは、発表者が読んで面白いと思った本を一人5分程度で紹介し、その発表に関する意見交換を2～3分程度行い、全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ活動です。ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができます。

子ども読書活動推進のための取組事例

令和6年3月に県教育委員会が策定した「愛媛県子ども読書活動推進計画」にも様々な事例が紹介されています。

＜読書意欲を高める工夫＞

- 地域ボランティアによる読み聞かせ
- 図書館に新着本やおすすめの本を展示し、ポップを付けて紹介
- 「先生おすすめの本コーナー」の設置、先生による読み聞かせ

＜地域に開かれた学校図書館運営＞

- 保護者や地域の方々への図書館開放、図書の貸出の実施
(参観日や学校行事、懇談会等の際)
- 親子で読書に親しむためのおすすめの本の紹介

＜生徒の意見を反映した図書購入＞

- 図書委員を中心とした選書会の実施と図書委員の意見を反映した図書の購入
- リクエストボックスの設置による図書の購入募集

＜中学生に読ませたい本100＞

- 保護者が生徒に読ませたい本をリストアップしたうちの100冊を購入し、「中学生に読ませたい本」コーナーを設置



【先生おすすめの本コーナー】



【地域に開かれた学校図書館】

子供の読書キャンペーン

文部科学省では、「あなたと読みたい1冊」をテーマに「子供の読書キャンペーン」をHP上で開催しています。児童生徒が、様々な本に触れ、読書に親しめる機会が増えるよう、各界で活躍されている著名人の方からの、おすすめの本の紹介とメッセージが掲載されています。

子供の読書キャンペーン ～ぎみに贈りたい1冊～

名前	職業	紹介されている本、著者
阿部亮平 さん (Snow Man)	歌手	『ゴールデンスランバー』伊坂幸太郎 著
長濱ねる さん	俳優	『 i 』西加奈子 著
宮島未奈 さん	作家	『蹴りたい背中』綿矢りさ 著
ラランド ニシダ さん	芸人	『ことり』小川洋子 著

※掲載されている方の一部を紹介いたしました。

出典：https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index.html

